

県議会を見て！ 聞いて！知る！

～高校生との意見交換で探す、 新しい兵庫～



県議会広報PRキャラクター
「兵議博士」

ひょうご 県議会だより

あなたの声を県政に、伝えよう私たちの心、
夢かなうひょうごへ



(撮影時のみマスクを外しています。)

令和4年度“高校生版”ひょうご県議会だより

第359回 9月定例県議会の概要 (9月20日～10月24日)

知事から提出された予算・条例案などを審議し、総額649億円に及ぶ補正予算を可決しました。

予算及びその他議決案件 (計21件)

- ◆ 令和4年度兵庫県一般会計補正予算 (第2号)
- ◆ 令和4年度兵庫県勤労者総合福祉施設整備事業特別会計補正予算 (第1号)

I 県民生活の安定化に向けた支援 52億円

コロナ禍において物価高騰の影響を受ける県民生活を応援するため、飲食や県産農産物の購入等への支援を実施するとともに、光熱費等の高騰の影響を受ける高齢者施設・障害者施設・保育施設等を支援することで利用者負担の増加を抑制

II 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の推進 525億円

感染者急増への対応として、発生届の限定に向けた体制整備を進めるとともに、引き続き医療提供・保健所・ワクチン接種体制等を確保

III 円安・原油価格高騰等の影響を踏まえた事業者の経済活動の支援 72億円

収束の見通せない円安・原油価格高騰等による影響を緩和するため、中小規模の事業者等に対する事業継続支援を強化するとともに、省エネ化・新事業展開を支援

- ◆ 兵庫県立兵庫津ミュージアムの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ◆ 建築基準条例及び使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例 など

決算案件 (計23件)

- ◆ 令和3年度兵庫県一般会計歳入歳出決算など計23件を決算特別委員会で審査(9月30日～10月19日)し、認定

決議 (計1件)

- ◆ 北朝鮮の弾道ミサイル発射に抗議する決議

意見書 (計11件)

- ◆ 空き家対策の強化等を求める意見書
- ◆ 教職員の多忙化対策に係る国の財政支援の拡充を求める意見書
- ◆ 靈感・霊視商法による被害防止と被害者救済を図るための対策強化を求める意見書
- ◆ 医師の地域偏在、診療科偏在等に対応するための医師確保対策の充実を求める意見書
- ◆ 児童生徒用送迎バス等の置き去り防止に向けた対策を求める意見書
- ◆ 中学校・高校も含めた少人数学級の本格的な実施を求める意見書 など

請願 (計1件)

- ◆ 私立学校に対する助成に係る国庫補助制度の堅持及び一層の充実を求める国への意見書提出の件

質問の一部をご紹介します

代表質問 (9月26日)

県立高校教育改革の推進について



自由民主党
谷口 俊介
神戸市西区

Q 県立高校の統合にあたっては、その組み合わせ毎に背景、教育的課題、進む方向性など様々であり、丁寧に進める必要があるのではないかと。

A 現在、教職員による議論、生徒へのアンケート、地域自治会等地域関係者へ説明、意見聴取を行っている。今後、地域関係者等の意見を参考にしながら、本年12月までには統合校の教育活動の特色や想定設置場所等を盛り込んだ基本計画を策定し、中学生の進路選択の時期等を踏まえながら、丁寧な説明を行っていく。

2025年に向けたHYOGOのプロモーション戦略



自民党兵庫
風早 ひさお
宝塚市

Q 万博開催の2025年に向け何をどのようにプロモートし、兵庫の認知度や魅力を高めるブランド力を育て人・モノ・投資・情報を呼び込むのか。

A 万博を最大限活用し、フィールドパビリオンの取組により、地場産業や循環型農業等の魅力や価値を国内外に発信し、そこにしかない本物の体験をHYOGOのブランド価値の向上へと繋ぐ。また、震災からの創造的復興等をテーマに連携・共創によるプロジェクトを創出し、世界的な課題の解決に向けて挑戦する兵庫の姿を発信する。

用語解説 フィールドパビリオン：県内の地場産業や文化等の活動現場をパビリオンに見立てその場で体験等ができる。

一般質問 (9月28日・29日・30日)

Q 園児の送迎バス置き去りを受けた、保育所等の安全管理体制について。



富山 恵二
自由民主党
相生市

A 全ての保育施設、認定こども園等に緊急点検を実施している。人を感知するシステムの活用促進など実効性のある対策や、ヒヤリ・ハット事案の報告を求め、安全確保に取り組んでいく。

Q ひょうごジョブコーチ制度の効果や課題、今後の進め方は。



大豊 康臣
自由民主党
加西市

A 短時間勤務も対象とする柔軟な対応により職場定着率は9割と高い。ジョブコーチの人材確保が課題であるが、他の各種施策も活用し、障害者の就労、職場定着に取り組んでいく。

Q 本県のインクルーシブ教育における特別支援学校のあり方は。



春名 哲夫
自由民主党
宍粟市

A 狭小化の解消や切磋琢磨する学習集団の確保など、障害種別や地域の実情を踏まえ環境整備を進める。また、新たな施設整備は、地域の実情や児童生徒数の動向を踏まえ検討する。

Q こども家庭庁と密接に連携をとることも支援の専門的な組織の創設を。



北浜 みどり
自民党兵庫
神戸市灘区

A 今後示されるこども家庭庁の組織体制の詳細等を踏まえながら、国や県、市町と密接な連携を図れ、子どもにとってより良い社会の構築に取り組める体制となるよう検討したい。

Q 兵庫デスティネーションキャンペーンに向けた対策と今後の展開について。



橋秀太郎
自民党兵庫
美方郡

A 様々な切り口で兵庫の観光を発信し、「テロワール旅」というコンセプト、フィールドパビリオンというコンテンツも磨き上げながら、新たな「HYOGO」ブランドの向上につなげたい。

Q 学校給食への県産食材使用率向上、有機農産物活用を戦略的に進めるべき。



木戸 さだかず
ひょうご県民連合
神戸市須磨区

A 教育委員会と連携しながら給食側と産地側の理解促進、市町の意向や課題把握に努め、アドバイザー派遣や生産技術指導、県内産地とのマッチングや食材調達支援等を着実に進めていく。

Q 犯罪被害者等の支援に特化した条例の制定と具体的な支援の強化を。



吉岡 たけし
自由民主党
神戸市垂水区

A 市町や学校等への総合的支援窓口を設置する方向である。条例制定により、被害者等への理解が深まり、市町等との緊密な連携で、被害者等支援の充実が図られるように取り組む。

Q 暮らしの質向上、地域の活性化のためのデジタル化に向けた県の取組は。



石井 健一郎
ひょうご県民連合
神戸市灘区

A 兵庫情報ハイウェイの利用促進に加え5G利用環境の充実、IT人材の育成に取組むとともに、市町や大学、企業等と連携し、誰一人取り残されないデジタル社会づくりを進める。

産業労働常任委員会と県民との意見交換会 (神戸市) 9月14日

日本ケミカルシューズ工業組合の皆さまと、「ポストコロナを見据えた地場産業振興施策の方向性」について意見交換を行いました。



警察常任委員会と県民との意見交換会 (三田市) 9月15日

三田市やスマートポールチームの皆さまと、「先進技術を活用したスマートポールによる交通安全・地域安全の実証実験」について、意見交換を行いました。



第359回 9月 定例県議会での

神戸空港の国際化について



ひょうご県民連合
向山 好一
神戸市北区

Q 関西3空港懇談会が開催され、2030年前後に国際定期便の運用を可能とすることが合意されたが、それまでにどのような準備を行うのか伺う。

A 外国人観光客の拡大を見据えた医療情報等の多言語ポータルサイトの開設や2025年大阪・関西万博を契機として県内各地へ誘客する「ひょうごフィールドパビリオン」の全県展開等に加え、神戸空港への広域的な陸上アクセスとなる、大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線、神戸西バイパスなど高規格道路の整備促進にも取り組んでいく。

女性の活躍に向けた取組について



公明党・県民会議
竹尾 ともえ
西宮市

Q 女性デジタル人材の育成など女性の就労支援や経済界と連携した女性活躍推進のための取組状況を伺う。

A すべての女性が自らの希望と選択に基づき、能力や個性を發揮できるように、新たに認定制度を設けるなどにより、女性の活躍に向けた取組を推進していく。女性活躍の推進はSDGsの取組ともつながり、力を入れる企業が増えている。女性がいきいきと活躍できる社会の実現に向け、様々な施策を通じて着実な推進を図っていく。

Q 女子学生の県内企業への就職率アップに繋がる推進方策は。

A 女子学生対象の「わたしのキャリア研究会」事業や1・2年生対象のインターシップ充実のほか、学生や企業のニーズを踏まえ、女子学生の県内就職促進の取組を進めていきたい。



あしだ 賀津美
公明党・県民会議
神戸市北区

Q 三田市民病院と済生会兵庫県病院内統合後、新病院の予定地は。

A 中間点でもあり、幹線道路沿いである神戸市北区長尾町宅原とされている。路線バスの乗り入れも可能で、神戸電鉄横山駅、道場駅からも近くアクセスしやすい立地となっている。



関口 正人
自由民主党
三田市

Q 男女の賃金格差是正へ女性の賃上げを進める企業への奨励金制度を。

A 賃金格差は大変重要な問題。これまでに県ではトップ層の意識改革セミナー、国の助成金活用等助言指導を実施してきた。引き続き、啓発等で企業の自主的な取り組みを促していきたい。



きだ ゆい
日本共産党
神戸市東灘区

Q 播磨臨海地域カーボンニュートラルポート形成計画の策定状況は。

A 現在、推進協議会において、参画企業とCO2排出量の把握や排出削減計画等の調整を始めている。今後、カーボンニュートラル実現に向けて、来年度半ばに計画を取りまとめる。



山本 敏信
自由民主党
高砂市

Q 神戸と北播磨を結ぶ道路整備と将来の高速道路構想について。

A 県道神戸加東線等道幅の狭い箇所を早期整備に努める。神戸と北播磨を直結する高速道路は、ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画の中で構想路線として検討していく。



藤本 百男
自由民主党
加東市

Q 最先端のリハビリ訓練を行う最先端歩行再建センターへの支援は。

A 国に対して訓練用高機能ロボット取得に対する助成措置の創設、高機能ロボットを用いたりハビリに対する診療報酬の上乗せについて提案していきたい。



岸本 かずなお
公明党・県民会議
加古川市

Q 成年後見制度の利用促進に向けた市町への支援体制、今後の強化策は。

A 国基本計画に基づき、各市町における体制整備等を支援している。今後各市町等と連携しながら認知症高齢者等が安心して暮らせるよう制度の更なる周知等取組を促進していく。



徳安 淳子
維新の会
尼崎市

一般質問は、質問日毎の以下QRコードより視聴できます。

9月28日 9月29日 9月30日

- 用語解説
- インクルーシブ教育：障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み。
 - 成年後見制度：認知症などにより判断能力が十分でない方を保護する制度。
 - カーボンニュートラルポート：温室効果ガスの排出をゼロを目指す港湾のこと。

※代表質問・一般質問の様子は、各QRコードからつながる「インターネット録画配信」でご覧いただけます。

農政環境常任委員会の地域開催 9月2日

県民の皆さまに県議会の役割を一層ご理解いただくため、農政環境常任委員会が、9月2日に淡路地域において「環境の保全と創造及び温暖化対策の総合的推進」、「廃棄物対策の推進」について調査をおこないました。



地域で様々な活動を展開している県民の皆さまの声を県政に反映していくため県内各地で意見交換会を開催しています。





県議会 ニュース

高校生が県議会議員にインタビュー！

“高校生版” ひょうご県議会だよりの発行

若い世代が県議会に関心をもてるよう、公募により選ばれた神戸山手女子高等学校生が自ら感じる疑問を正副議長をはじめとする県議会議員に直接聞いてみました！インタビュー内容をもとに原稿を作り、編集を重ね「高校生版」ひょうご県議会だより」として発行しました。



高校生による正副議長へのインタビュー内容の一部を掲載 Q & A



高校生

Q 私たちと同じ高校2年生の頃、何をしていましたか？

A 将来についてそれほど真剣に考えてなかったかな。空手の部活動で一試合一試合を必死に考えていました。



小西議長

A 将来何をしたいというのが一番なかった時期ですね。片道1時間以上の通学で帰ったらもう疲れ果てていました。



水田副議長



感想 議員だからといって特別なことをしていたわけじゃないんだなと。私も、具体的に将来何がしたいのか決まっていなかったから議員さんも同じなんだと少し親近感がわいた。



高校生

Q 選挙などのストレスはたまらないんですか？

A ストレスはすべてポジティブに考えているなあ。悪いことを言われても、自分の気がつかないところを指摘してくれているのかも、と思って全部吸収します。そうじゃないと持たないから、楽しもうと。



小西議長

A 会社経営もあって毎日忙しいのでストレスを感じる機会があまりない。でも体は正直なので仕事のストレスで夢の中で暴れて壁を蹴ったりしたことはありました(笑)。



水田副議長



感想 なんと！！私はテストや宿題が多くて睡眠時間が削られると「しんどいな」とネガティブに考えてしまうのに、議長は他の人からの批判をポジティブに変換するなんて！でも副議長、もっと休んでください(汗)。



その他、高校生が県議会や議員に感じるたくさんの疑問についてインタビューしました。県議会ホームページに掲載の「高校生版」ひょうご県議会だより」を是非、ご覧ください。



● 県議会サテライトゼミの開催 7月15日

県内大学のゼミ生が、地域創生やまちづくりの実践等に関する調査研究の成果を県議会で発表し、議長・副議長等と意見交換を行う「県議会サテライトゼミ」を実施しました。7月15日に神戸学院大学経済学部（関谷ゼミ）が「マナー改善によるバスの利用促進」、「親が育てる社会から地域で育てる社会へ」、「姫路市夢前町を事例とした地域活性化」についての研究成果や提言を発表し、議員と活発な意見交換を行いました。



● 政策法務研修 10月24日

「政策法務の留意点～解釈、地方分権、政策立案～」をテーマに、新潟大学副学長・経済科学部教授の宍戸邦久氏をお招きし、政策立案能力の向上を図る政策法務研修を実施しました。



編集・発行



兵庫県議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL.078-341-7711 (代)

FAX.078-362-9031

広告欄のため不掲載